

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 7 月 20 日 (2006.7.20)

【公表番号】特表 2005-528705 (P2005-528705A)

【公表日】平成 17 年 9 月 22 日 (2005.9.22)

【年通号数】公開・登録公報 2005-037

【出願番号】特願 2004-509874 (P2004-509874)

【国際特許分類】

**G 0 6 K 9/03 (2006.01)**

**G 0 6 K 9/62 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 K 9/03 B

G 0 6 K 9/62 G

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 5 日 (2006.6.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】既知シンボルを使用して手書きシンボルを編集する装置、方法、コンピュータプログラム

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

既知シンボル群に対するシンボル認識システムを制御する方法であって、  
 所望のシンボルの指示を検知し、  
 前記所望のシンボルに対応する可能性のある第 1 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択し、  
 前記第 1 の既知シンボルを表示し、  
 前記表示された第 1 の既知シンボルが前記所望のシンボルに対応しないことを示す指示を受信し、  
 前記所望のシンボルに対応する可能性のある第 2 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択し、  
 前記第 2 の既知シンボルを表示すること  
 を特徴とする方法。

【請求項 2】

入力済アルファベットの少なくとも一部を表現する所定の文字群を、前記既知シンボル群として提供する  
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択することは、  
 前記所望のシンボルに最も近い第 1 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 4】**

前記第 2 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択することは、  
前記所望のシンボルに次に近い第 2 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択することを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

**【請求項 5】**

前記第 1 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択することは、  
前記所望のシンボルと前記既知シンボル群のそれぞれの既知シンボルとの比較による近さを示すスコアを生成することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 6】**

更に、前記所望のシンボルと前記既知シンボル群のそれぞれの既知シンボルとの比較による複数のスコアを記憶することを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

**【請求項 7】**

前記第 2 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択することは、  
前記比較による前記記憶されたスコアに基づいて、第 2 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択することを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

**【請求項 8】**

更に、前記所望のシンボルと前記既知シンボル群のそれぞれの既知シンボルとの比較によるスコアの内、所定閾値を越えるスコアを記憶することを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

**【請求項 9】**

前記第 2 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択することは、  
前記比較による前記記憶されたスコアに基づいて、第 2 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択することを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

**【請求項 10】**

前記第 2 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択することは、  
前記所望のシンボルと前記既知シンボル群のそれぞれの既知シンボルとの比較による近さを示すスコアを生成することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 11】**

前記第 2 の既知シンボルの表示は、前記表示された第 2 の既知シンボルが前記所望のシンボルに対応しないことを示すユーザからの指示を受信することによって発生することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 12】**

更に、  
前記所望のシンボルに対応する第 3 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択し、  
前記第 3 の既知シンボルを前記ユーザに対して表示することを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

**【請求項 13】**

更に、  
前記表示された第 2 の既知シンボルが前記所望のシンボルに対応することを示すユーザからの指示を受信し、  
前記表示された第 1 の既知シンボルを前記第 2 の既知シンボルに置換することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 14】**

前記第 2 の既知シンボルの選択は、更に、前記所望のシンボルに対応する複数の既知シンボルを選択し、

前記第 2 の既知シンボルの表示は、更に、前記選択された複数の既知シンボルを前記ユーザに対して表示する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 15】

更に、

前記表示された複数の既知シンボルの 1 つのユーザによる選択指示を受信し、

前記複数の既知シンボルの選択がされていないもの以外の前記表示された複数の既知シンボルから選択された既知シンボルを表示する

ことを特徴とする請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】

更に、

前記表示された第 1 の既知シンボルが前記所望のシンボルに対応しないことを示すユーザからの指示の受信を受けて、該表示された第 1 の既知シンボルを変更する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 17】

シンボル認識装置であって、

所定の既知シンボル群を記憶するように構成されているメモリと、

所望のシンボルの指示を検知するシンボル検知回路と、

前記所望のシンボルと前記既知シンボルとを比較し、前記所望のシンボルに対応する第 1 の既知シンボルを前記既知シンボル群から出力し、コマンドの受信を受けて、前記所望のシンボルに対応する第 2 の既知シンボルを前記既知シンボル群から出力するように動作するシンボル選択回路と、

前記シンボル選択回路によって出力される前記既知シンボルを表示する表示回路と

を備えることを特徴とするシンボル認識装置。

【請求項 18】

前記シンボル選択回路は、前記所望のシンボルに最も近い第 1 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択するように動作する

ことを特徴とする請求項 17 に記載のシンボル認識装置。

【請求項 19】

前記シンボル選択回路は、前記所望のシンボルに次に最も近い第 2 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択するように動作する

ことを特徴とする請求項 18 に記載のシンボル認識装置。

【請求項 20】

前記シンボル選択回路は、前記所望のシンボルと前記既知シンボル群との比較による近さを示すスコアをとるように動作する

ことを特徴とする請求項 17 に記載のシンボル認識装置。

【請求項 21】

前記シンボル選択回路は、前記所望のシンボルと前記既知シンボル群との比較から、少なくとも複数のスコアを前記メモリに記憶するように動作する

ことを特徴とする請求項 20 に記載のシンボル認識装置。

【請求項 22】

前記シンボル選択回路は、ユーザからの編集コマンドの受信を受けて、前記メモリに記憶されているスコアに基づいて前記第 2 の既知シンボルを選択して出力するように動作する

ことを特徴とする請求項 21 に記載のシンボル認識装置。

【請求項 23】

前記シンボル選択回路は、ユーザからの編集コマンドの受信を受けて、前記所望のシンボルと前記既知シンボルを比較して、前記第 2 の既知シンボルを出力するように動作する

ことを特徴とする請求項 17 に記載のシンボル認識装置。

【請求項 24】

前記シンボル選択回路は、前記表示回路が前記第 2 の既知シンボルを表示している間に、ユーザからの編集コマンドの受信を受けて、前記所望のシンボルに対応する第 3 の既知シンボルを前記既知シンボル群から出力するように動作する

ことを特徴とする請求項 17 に記載のシンボル認識装置。

【請求項 25】

前記シンボル選択回路は、ユーザからの編集コマンドの受信を受けて、前記所望のシンボルに対応する複数の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択して出力するように動作し、

前記表示回路は、前記シンボル選択回路によって出力される前記複数の既知シンボルを表示するように動作する

ことを特徴とする請求項 17 に記載のシンボル認識装置。

【請求項 26】

前記シンボル選択回路は、前記表示された複数の既知シンボルの 1 つを選択するユーザからのコマンドの受信を受けて、該表示された複数の既知シンボルの内、選択された 1 つの既知シンボルだけを表示するように動作する

ことを特徴とする請求項 25 に記載のシンボル認識装置。

【請求項 27】

前記シンボル選択回路は、ユーザからの編集コマンドの受信を受けて、前記表示された第 1 の既知シンボルを変更するように動作する

ことを特徴とする請求項 17 に記載のシンボル認識装置。

【請求項 28】

既知シンボル群に対するシンボル認識装置を制御するコンピュータプログラムであって、該コンピュータプログラムは、コンピュータ可読媒体に記憶され、かつコンピュータに実行させるためのプログラムで、該コンピュータプログラムは、

所望のシンボルの指示を検知し、

前記所望のシンボルに対応する可能性のある第 1 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択し、

前記第 1 の既知シンボルを表示し、

前記表示された第 1 の既知シンボルが前記所望のシンボルに対応しないことを示す指示を受信し、

前記所望のシンボルに対応する可能性のある第 2 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択し、

前記第 2 の既知シンボルを表示する

ことをコンピュータに実行させることを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項 29】

前記第 1 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択することは、

前記所望のシンボルに最も近い第 1 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択することを含む

ことを特徴とする請求項 28 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 30】

前記第 2 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択することは、

前記所望のシンボルに最も近い第 2 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択することを含む

ことを特徴とする請求項 29 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 31】

更に、前記表示された第 2 の既知シンボルが前記所望のシンボルに対応しないことを示すユーザからの指示を受信することをコンピュータに実行させる

ことを特徴とする請求項 28 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 32】

更に、

前記所望のシンボルに対応する第 3 の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択し、  
前記ユーザに対し、前記第 3 の既知シンボルを表示する  
ことをコンピュータに実行させる  
ことを特徴とする請求項 3 1 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 3 3】

更に、  
前記表示された第 2 の既知シンボルが前記所望のシンボルに対応することを示すユーザ  
からの指示を受信し、  
前記表示された第 1 の既知シンボルを前記第 2 の既知シンボルに置換する  
ことをコンピュータに実行させる  
ことを特徴とする請求項 2 8 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 3 4】

更に、  
前記所望のシンボルに対応する複数の既知シンボルを前記既知シンボル群から選択し、  
前記ユーザに対し、前記選択された複数の既知シンボルを表示する  
ことをコンピュータに実行させる  
ことを特徴とする請求項 2 8 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 3 5】

更に、  
前記表示された複数の既知シンボルの 1 つの前記ユーザからの選択指示を受信し、  
前記複数の既知シンボルの選択がされていないもの以外の前記表示された複数の既知シ  
ンボルから選択された既知シンボルを表示する  
ことをコンピュータに実行させる  
ことを特徴とする請求項 2 8 に記載のコンピュータプログラム。